

北海道大学修士・博士（水産科学）

学位論文審査等の手引
（博士後期&修士課程）

（申請者用）

（令和4年度版）

北海道大学大学院水産科学院

目次

— . . . — . . . — . . . 博士後期課程 — . . . — . . . — . . .

- 2 提出書類一覧（課程博士）
- 3 提出書類一覧（論文博士）
- 4 令和4年度6月授与 博士後期課程学位申請手続きについて
- 10 令和4年度9月授与 博士後期課程学位申請手続きについて
- 16 令和4年度12月授与 博士後期課程学位申請手続きについて
- 22 令和4年度3月授与 博士後期課程学位申請手続きについて
- 28 学位申請書類の電子データ作成要領
- 29 様式集

— . . . — . . . — . . . 修士課程 — . . . — . . . — . . .

- 42 提出書類一覧（修士課程）
- 43 令和4年度9月修了 修士課程修了手続きについて
- 47 令和4年度3月修了 修士課程修了手続きについて

博士後期課程

【課程博士】学位申請に係る提出書類一覧

	提出書類	提出者	提出部数	提出期限
①	主論文	申請者(学生)	1部+電子データ	6月授与: <u>令和4年4月8日(金)正午</u> 9月授与: <u>令和4年6月3日(金)正午</u> 12月授与: <u>令和4年10月3日(月)正午</u> 3月授与: <u>令和5年1月5日(木)</u> <u>~1月10日(火)正午</u>
②	参考論文	申請者(学生)	1部	
③	履歴書	申請者(学生)	1部	
④	論文目録	申請者(学生)	1部	
⑤	学位論文内容の要旨	申請者(学生)	1部+電子データ	
⑥	インターネット公表に関する書類 ※様式0~2のいずれか1つ	申請者(学生)	1部	
⑦	主論文の要約 ※⑥で様式1提出者のみ	申請者(学生)	1部+電子データ	

【公開論文発表会(博士)】

《3月授与》

令和5年2月2日(木), 3日(金), 6日(月), 7日(火)

※3月期以外の授与期については, 各書類の提出期限を踏まえ, 各自調整して開催する。

【論文博士】学位申請に係る提出書類一覧

	提出書類	提出者	提出部数	提出期限
①	研究歴証明書	申請者	1部	<u>6月授与: 令和4年3月2日(水)</u> <u>9月授与: 令和4年5月11日(水)</u> <u>12月授与: 令和4年9月2日(金)</u>
②	研究業績目録	申請者	1部	
③	履歴書	申請者	1部	
④	学内講演会発表時期がわかる資料 ※学内講演会は、論文受理の教授会の半年以上前に開催すること	申請者	1部	
⑤	主論文	申請者	1部+電子データ	<u>6月授与: 令和4年4月8日(金)正午</u> <u>9月授与: 令和4年6月3日(金)正午</u> <u>12月授与: 令和4年10月3日(月)正午</u>
⑥	参考論文	申請者	1部	
⑦	論文目録	申請者	1部	
⑧	学位論文内容の要旨	申請者	1部+電子データ	
⑨	インターネット公表に関する書類 ※様式0~2のいずれか1つ	申請者	1部	
⑩	主論文の要約 ※⑥で様式1提出者のみ	申請者	1部+電子データ	
⑪	学位申請書	申請者	1部	論文受理教授会終了後速やかに <u>(全授与期共通)</u>
⑫	論文審査手数料振替払込受付証明書(E票)	申請者	1部	

※ 3月期は、論文博士の学位論文審査は原則実施しておりません。

令和4年度6月授与
博士後期課程学位申請
手続きについて

**令和4年度（令和4年6月修了）博士後期課程（課程博士）
学位審査手順・日程**

※提出期日については、2～3頁の日程表により確認願います。

1. 「博士論文」等の提出【学生→教務担当】

- ① 主論文（1部＋電子データ）……………**詳細**
- ② 参考論文（1部）
- ③ 履歴書・論文目録（原本1部）
- ④ 学位論文内容の要旨（原本1部＋電子データ）**様式集**

※片面印刷で作成

- ⑤ インターネット公表に係る書類（様式0・1・2のいずれか1つ）**様式集**
- ⑥ 主論文の要約（1部＋電子データ）※⑤で様式1提出者のみ **様式集**

※ 電子データ作成については、別紙①「学位申請に関する書類の電子データ作成要領」を参照すること。

※ 上記⑤で様式1を提出した者は、

保留にかかる事由が解消された場合→様式3

当初の保留事由解消見込み時期以降も全文を公表できない場合→様式4
を作成し、教務担当まで提出すること。

手続きがない場合には、当初の保留事由解消見込み時期、

又は公表保留上限年数（原則5年）を経過した段階で全文公表を行う。

2. 最終審査会（教授会） 【5/25(水) 15:00～（予定）】

3. 学位（博士）授与日 【6/30(木)】

4. 学位記授与式（函館） 【6/30(木)】（予定）

【詳細】「博士論文」等の提出

提出先：教務担当窓口

提出期限：令和4年4月8日（金）正午

提出物（紙媒体）：

- ① 主論文（1部） ②参考論文（1部）
- ③ 履歴書・論文目録・学位論文内容の要旨（各1部（原本））
- ④ インターネット公表にかかる関係書類（様式0・1・2のいずれか）
- ⑤ 主論文の要約（1部）※④で様式1提出者のみ

提出物（電子データ）：

- ⑥ 主論文全文（電子データ） ⑦学位論文内容の要旨（電子データ）
- ⑧ 主論文の要約（電子データ）※④で様式1提出者のみ

※ 電子データ作成については、別紙①「学位申請書類の電子データ作成要領」を参照すること。

① 主論文（1部） ② 参考論文（1部）

- ・ 用紙はA4判を使用すること。
- ・ 主論文，参考論文には目次をつけること。
- ・ 大学側で製本するので，提出の際に製本はしない。バインダー（挟むタイプ）にて提出すること（穴を開けるバインダー不可）。

【表紙】

- ・ 論文題目が和文の場合は英訳を，英文の場合は和訳を記載し，訳題は（ ）でくく
- ること。
- ・ 氏名を記載するとともに，漢字氏名の場合は英語表記も併記すること。漢字語圏の学生は，原則漢字で記載し，英語表記も必ず併記すること。
- ・ アルファベット表記の学生は，本人の希望により，カタカナ表記を併記しても構わないこと。
- ・ 発行年を西暦で記載すること（発行年度ではないので注意）。
- ・ 表紙には，大学院名，所属専攻は記載しないこと。
- ・ 英語の論文題目の場合は，全て英文，和文の順に記載すること。
- ・ バインダーの表紙，中表紙，背表紙は次頁の例により作成すること。

【中表紙】

表紙と同じ記載内容とすること。ただし，中表紙にのみ，大学院名，所属専攻を和文，英文で併記すること（所属講座名は不要）。

【背表紙】

- ・ 論文題目，氏名，発行年（西暦で記載）とすること。
- ・ 和文論文題目の英訳，英文論文題目の和訳の併記は必要ないこと。

※表紙・中表紙・背表紙は、次ページの＜記載例＞の通り作成すること。

<記載例>

○主論文

和文論文題目の場合

英文論文題目の場合

【表紙（縦 8cm×横 13cm）】

<p>水産科学に関する研究 (Research on Fisheries Science)</p> <p>水産太郎 Taro Suisan</p> <p>2022年</p>	<p>Research on Fisheries Science (水産科学に関する研究)</p> <p>Hanako Suisan 水産花子</p> <p>2022年</p>
--	--

【中表紙（A4サイズで作成）】

<p>(A4サイズ)</p> <p>水産科学に関する研究 (Research on Fisheries Science)</p> <p>北海道大学大学院水産科学院 海洋生物資源科学専攻 Division of Marine Bioresource and Environmental Science Graduate School of Fisheries Sciences Hokkaido University</p> <p>水産太郎 Taro Suisan</p> <p>2022年</p>	<p>(A4サイズ)</p> <p>Research on Fisheries Science (水産科学に関する研究)</p> <p>Division of Marine Life Science Graduate School of Fisheries Sciences Hokkaido University 北海道大学大学院水産科学院 海洋応用生命科学専攻</p> <p>Hanako Suisan 水産花子</p> <p>2022年</p>
--	---

【背表紙（バインダーの背表紙に貼付）】

題 目	氏 名	2022年
-----	-----	-------

○参考論文

和文論文題目の場合

英文論文題目の場合

【表紙（縦 8cm×横 13cm）】

<p>参考論文</p> <p>水産科学に関する研究 (Research on Fisheries Science)</p> <p>水産太郎 Taro Suisan</p> <p>2022年</p>	<p>参考論文</p> <p>Research on Fisheries Science (水産科学に関する研究)</p> <p>Hanako Suisan 水産花子</p> <p>2022年</p>
--	--

【中表紙（A4 サイズで作成）】

<p>(A4 サイズ) 参考論文</p> <p>水産科学に関する研究 (Research on Fisheries Science)</p> <p>北海道大学大学院水産科学院 海洋生物資源科学専攻 Division of Marine Bioresource and Environmental Science Graduate School of Fisheries Sciences Hokkaido University</p> <p>水産太郎 Taro Suisan</p> <p>2022年</p>	<p>(A4 サイズ) 参考論文</p> <p>Research on Fisheries Science (水産科学に関する研究)</p> <p>Division of Marine Life Science Graduate School of Fisheries Sciences Hokkaido University 北海道大学大学院水産科学院 海洋応用生命科学専攻</p> <p>Hanako Suisan 水産花子</p> <p>2022年</p>
--	---

【背表紙（バインダーの背表紙に貼付）】

<p>参考論文 題 目</p>	<p>氏 名</p>	<p>2022年</p>
-----------------	------------	--------------

③履歴書・論文目録・学位論文内容の要旨

- ・ **様式集**を参照して作成すること。

④インターネット公表にかかる関係書類

- ・ 様式0～2のいずれか。

※様式1を提出した者は、

保留にかかる事由が解消された場合→様式3

当初の保留事由解消見込み時期以降も全文を公表できない場合→様式4

を作成し、教務担当まで提出すること。

手続きがない場合には、当初の保留事由解消見込み時期、

又は公表保留上限年数（原則5年）を経過した段階で全文公表を行う。

⑥学位論文全文 ⑦学位論文内容の要旨の電子データ

- ・ 電子データをメール添付により、教務担当へ提出すること。

※データ容量が大きく、メール添付できない場合はUSBメモリ等の記録媒体を使用し、直接教務担当まで提出すること。

※紙媒体での提出も必要となるので、注意すること。

※ マニュアルURL（水産学部ホームページ内）：

<https://www2.fish.hokudai.ac.jp/campus-life/page-204.html>

【各種様式の提出先】

〒041-8611

函館市港町3丁目1番1号

国立大学法人北海道大学

函館キャンパス事務部教務担当

Tel : 0138-40-5623

Mail : kyoumu@fish.hokudai.ac.jp

令和4年度9月授与
博士後期課程学位申請
手続きについて

**令和4年度（令和4年9月修了）博士後期課程（課程博士）
学位審査手順・日程**

※提出期日については、2～3頁の日程表により確認願います。

1. 「博士論文」等の提出【学生→教務担当】

- ① 主論文（1部＋電子データ）……………**詳細**
- ② 参考論文（1部）
- ③ 履歴書・論文目録（原本1部）
- ④ 学位論文内容の要旨（原本1部＋電子データ）**様式集**

※片面印刷で作成

- ⑤ インターネット公表に係る書類（様式0・1・2のいずれか1つ）**様式集**
- ⑥ 主論文の要約（1部＋電子データ）※⑤で様式1提出者のみ **様式集**

※ 電子データ作成については、別紙①「学位申請に関する書類の電子データ作成要領」を参照すること。

※ 上記⑤で様式1を提出した者は、

保留にかかる事由が解消された場合→様式3

当初の保留事由解消見込み時期以降も全文を公表できない場合→様式4
を作成し、教務担当まで提出すること。

手続きがない場合には、当初の保留事由解消見込み時期、

又は公表保留上限年数（原則5年）を経過した段階で全文公表を行う。

2. 最終審査会（教授会） 【7/27(水) 15:00～（予定）】

3. 学位（博士）授与日 【9/26(月)】

4. 学位記授与式（札幌） 【9/26(月)】（予定）

【詳細】「博士論文」等の提出

提出先：教務担当窓口

提出期限：令和4年6月3日（金）正午

提出物（紙媒体）：

- ① 主論文（1部） ②参考論文（1部）
- ③ 履歴書・論文目録・学位論文内容の要旨（各1部（原本））
- ④ インターネット公表にかかる関係書類（様式0・1・2のいずれか）
- ⑤ 主論文の要約（1部）※④で様式1提出者のみ

提出物（電子データ）：

- ⑥ 主論文全文（電子データ） ⑦学位論文内容の要旨（電子データ）
- ⑧ 主論文の要約（電子データ）※④で様式1提出者のみ

※ 電子データ作成については、別紙①「学位申請書類の電子データ作成要領」を参照すること。

① 主論文（1部） ② 参考論文（1部）

- ・ 用紙はA4判を使用すること。
- ・ 主論文，参考論文には目次をつけること。
- ・ 大学側で製本するので，提出の際に製本はしない。バインダー（挟むタイプ）にて提出すること（穴を開けるバインダー不可）。

【表紙】

- ・ 論文題目が和文の場合は英訳を，英文の場合は和訳を記載し，訳題は（ ）でくく
- ること。
- ・ 氏名を記載するとともに，漢字氏名の場合は英語表記も併記すること。漢字語圏の学生は，原則漢字で記載し，英語表記も必ず併記すること。
- ・ アルファベット表記の学生は，本人の希望により，カタカナ表記を併記しても構わないこと。
- ・ 発行年を西暦で記載すること（発行年度ではないので注意）。
- ・ 表紙には，大学院名，所属専攻は記載しないこと。
- ・ 英語の論文題目の場合は，全て英文，和文の順に記載すること。
- ・ バインダーの表紙，中表紙，背表紙は次頁の例により作成すること。

【中表紙】

表紙と同じ記載内容とすること。ただし，中表紙にのみ，大学院名，所属専攻を和文，英文で併記すること（所属講座名は不要）。

【背表紙】

- ・ 論文題目，氏名，発行年（西暦で記載）とすること。
- ・ 和文論文題目の英訳，英文論文題目の和訳の併記は必要ないこと。

※表紙・中表紙・背表紙は、次ページの＜記載例＞の通り作成すること。

<記載例>

○主論文

和文論文題目の場合

英文論文題目の場合

【表紙（縦 8cm×横 13cm）】

<p>水産科学に関する研究 (Research on Fisheries Science)</p> <p>水産太郎 Taro Suisan</p> <p>2022年</p>	<p>Research on Fisheries Science (水産科学に関する研究)</p> <p>Hanako Suisan 水産花子</p> <p>2022年</p>
--	--

【中表紙（A4サイズで作成）】

<p>(A4サイズ)</p> <p>水産科学に関する研究 (Research on Fisheries Science)</p> <p>北海道大学大学院水産科学院 海洋生物資源科学専攻 Division of Marine Bioresource and Environmental Science Graduate School of Fisheries Sciences Hokkaido University</p> <p>水産太郎 Taro Suisan</p> <p>2022年</p>	<p>(A4サイズ)</p> <p>Research on Fisheries Science (水産科学に関する研究)</p> <p>Division of Marine Life Science Graduate School of Fisheries Sciences Hokkaido University 北海道大学大学院水産科学院 海洋応用生命科学専攻</p> <p>Hanako Suisan 水産花子</p> <p>2022年</p>
--	---

【背表紙（バインダーの背表紙に貼付）】

題 目	氏 名
水産太郎	水産花子

○参考論文

和文論文題目の場合

英文論文題目の場合

【表紙（縦8cm×横13cm）】

<p>参考論文</p> <p>水産科学に関する研究 (Research on Fisheries Science)</p> <p>水産太郎 Taro Suisan</p> <p>2022年</p>	<p>参考論文</p> <p>Research on Fisheries Science (水産科学に関する研究)</p> <p>Hanako Suisan 水産花子</p> <p>2022年</p>
--	--

【中表紙（A4サイズで作成）】

<p>(A4サイズ) 参考論文</p> <p>水産科学に関する研究 (Research on Fisheries Science)</p> <p>北海道大学大学院水産科学院 海洋生物資源科学専攻 Division of Marine Bioresource and Environmental Science Graduate School of Fisheries Sciences Hokkaido University</p> <p>水産太郎 Taro Suisan</p> <p>2022年</p>	<p>(A4サイズ) 参考論文</p> <p>Research on Fisheries Science (水産科学に関する研究)</p> <p>Division of Marine Life Science Graduate School of Fisheries Sciences Hokkaido University 北海道大学大学院水産科学院 海洋応用生命科学専攻</p> <p>Hanako Suisan 水産花子</p> <p>2022年</p>
---	--

【背表紙（バインダーの背表紙に貼付）】

<p>参考論文 題 目</p>	<p>氏 名</p>	<p>2022年</p>
-----------------	------------	--------------

③履歴書・論文目録・学位論文内容の要旨

- ・ **様式集**を参照して作成すること。

④インターネット公表にかかる関係書類

- ・ 様式0～2のいずれか。

※様式1を提出した者は、

保留にかかる事由が解消された場合→様式3

当初の保留事由解消見込み時期以降も全文を公表できない場合→様式4
を作成し、教務担当まで提出すること。

手続きがない場合には、当初の保留事由解消見込み時期、

又は公表保留上限年数（原則5年）を経過した段階で全文公表を行う。

⑥学位論文全文 ⑦学位論文内容の要旨の電子データ

- ・ 電子データをメール添付により、教務担当へ提出すること。

※データ容量が大きく、メール添付できない場合はUSBメモリ等の記録媒体を使用し、
直接教務担当まで提出すること。

※紙媒体での提出も必要となるので、注意すること。

※ マニュアルURL（水産学部ホームページ内）：

<https://www2.fish.hokudai.ac.jp/campus-life/page-204.html>

【各種様式の提出先】

〒041-8611

函館市港町3丁目1番1号

国立大学法人北海道大学

函館キャンパス事務部教務担当

Tel : 0138-40-5623

Mail : kyoumu@fish.hokudai.ac.jp

令和4年度12月授与
博士後期課程学位申請
手続きについて

令和4年度（令和4年12月修了）博士後期課程（課程博士）

学位審査手順・日程

※提出期日については、2～3頁の日程表により確認願います。

1. 「博士論文」等の提出【学生→教務担当】

- ① 主論文（1部＋電子データ）……………**詳細**
- ② 参考論文（1部）
- ③ 履歴書・論文目録（原本1部）
- ④ 学位論文内容の要旨（原本1部＋電子データ）**様式集**

※片面印刷で作成

- ⑤ インターネット公表に係る書類（様式0・1・2のいずれか1つ）**様式集**

- ⑥ 主論文の要約（1部＋電子データ）※⑤で様式1提出者のみ **様式集**

※ 電子データ作成については、別紙①「学位申請に関する書類の電子データ作成要領」を参照すること。

※ 上記⑤で様式1を提出した者は、

保留にかかる事由が解消された場合→様式3

当初の保留事由解消見込み時期以降も全文を公表できない場合→様式4を作成し、教務担当まで提出すること。

手続きがない場合には、当初の保留事由解消見込み時期、

又は公表保留上限年数（原則5年）を経過した段階で全文公表を行う。

2. 最終審査会（教授会） 【11/30(水) 15:00～（予定）】

3. 学位（博士）授与日 【12/26(月)】

4. 学位記授与式（函館） 【12/26(月)】（予定）

【詳細】「博士論文」等の提出

提出先：教務担当窓口

提出期限：令和4年10月3日（月）正午

提出物（紙媒体）：

- ① 主論文（1部） ②参考論文（1部）
- ③ 履歴書・論文目録・学位論文内容の要旨（各1部（原本））
- ④ インターネット公表にかかる関係書類（様式0・1・2のいずれか）
- ⑤ 主論文の要約（1部）※④で様式1提出者のみ

提出物（電子データ）：

- ⑥ 主論文全文（電子データ） ⑦学位論文内容の要旨（電子データ）
- ⑧ 主論文の要約（電子データ）※④で様式1提出者のみ

※ 電子データ作成については、別紙①「学位申請書類の電子データ作成要領」を参照すること。

① 主論文（1部） ② 参考論文（1部）

- ・ 用紙はA4判を使用すること。
- ・ 主論文，参考論文には目次をつけること。
- ・ 大学側で製本するので，提出の際に製本はしない。バインダー（挟むタイプ）にて提出すること（穴を開けるバインダー不可）。

【表紙】

- ・ 論文題目が和文の場合は英訳を，英文の場合は和訳を記載し，訳題は（ ）でくく
- ること。
- ・ 氏名を記載するとともに，漢字氏名の場合は英語表記も併記すること。漢字語圏の学生は，原則漢字で記載し，英語表記も必ず併記すること。
- ・ アルファベット表記の学生は，本人の希望により，カタカナ表記を併記しても構わないこと。
- ・ 発行年を西暦で記載すること（発行年度ではないので注意）。
- ・ 表紙には，大学院名，所属専攻は記載しないこと。
- ・ 英語の論文題目の場合は，全て英文，和文の順に記載すること。
- ・ バインダーの表紙，中表紙，背表紙は次頁の例により作成すること。

【中表紙】

表紙と同じ記載内容とすること。ただし，中表紙にのみ，大学院名，所属専攻を和文，英文で併記すること（所属講座名は不要）。

【背表紙】

- ・ 論文題目，氏名，発行年（西暦で記載）とすること。
- ・ 和文論文題目の英訳，英文論文題目の和訳の併記は必要ないこと。

※表紙・中表紙・背表紙は、次ページの＜記載例＞の通り作成すること。

<記載例>

○主論文

和文論文題目の場合

英文論文題目の場合

【表紙（縦 8cm×横 13cm）】

<p>水産科学に関する研究 (Research on Fisheries Science)</p> <p>水産太郎 Taro Suisan</p> <p>2022年</p>	<p>Research on Fisheries Science (水産科学に関する研究)</p> <p>Hanako Suisan 水産花子</p> <p>2022年</p>
--	--

【中表紙（A4サイズで作成）】

<p>(A4サイズ)</p> <p>水産科学に関する研究 (Research on Fisheries Science)</p> <p>北海道大学大学院水産科学院 海洋生物資源科学専攻 Division of Marine Bioresource and Environmental Science Graduate School of Fisheries Sciences Hokkaido University</p> <p>水産太郎 Taro Suisan</p> <p>2022年</p>	<p>(A4サイズ)</p> <p>Research on Fisheries Science (水産科学に関する研究)</p> <p>Division of Marine Life Science Graduate School of Fisheries Sciences Hokkaido University 北海道大学大学院水産科学院 海洋応用生命科学専攻</p> <p>Hanako Suisan 水産花子</p> <p>2022年</p>
--	---

【背表紙（バインダーの背表紙に貼付）】

題 目	氏 名	2022年
-----	-----	-------

○参考論文

和文論文題目の場合

英文論文題目の場合

【表紙（縦8cm×横13cm）】

<p>参考論文</p> <p>水産科学に関する研究 (Research on Fisheries Science)</p> <p>水産太郎 Taro Suisan</p> <p>2022年</p>	<p>参考論文</p> <p>Research on Fisheries Science (水産科学に関する研究)</p> <p>Hanako Suisan 水産花子</p> <p>2022年</p>
--	--

【中表紙（A4サイズで作成）】

<p>(A4サイズ) 参考論文</p> <p>水産科学に関する研究 (Research on Fisheries Science)</p> <p>北海道大学大学院水産科学院 海洋生物資源科学専攻 Division of Marine Bioresource and Environmental Science Graduate School of Fisheries Sciences Hokkaido University</p> <p>水産太郎 Taro Suisan</p> <p>2022年</p>	<p>(A4サイズ) 参考論文</p> <p>Research on Fisheries Science (水産科学に関する研究)</p> <p>Division of Marine Life Science Graduate School of Fisheries Sciences Hokkaido University 北海道大学大学院水産科学院 海洋応用生命科学専攻</p> <p>Hanako Suisan 水産花子</p> <p>2022年</p>
---	--

【背表紙（バインダーの背表紙に貼付）】

<p>参考論文 題 目</p>	<p>氏 名</p>	<p>2022年</p>
-----------------	------------	--------------

③履歴書・論文目録・学位論文内容の要旨

- ・ **様式集**を参照して作成すること。

④インターネット公表にかかる関係書類

- ・ 様式0～2のいずれか。

※様式1を提出した者は、

保留にかかる事由が解消された場合→様式3

当初の保留事由解消見込み時期以降も全文を公表できない場合→様式4

を作成し、教務担当まで提出すること。

手続きがない場合には、当初の保留事由解消見込み時期、

又は公表保留上限年数（原則5年）を経過した段階で全文公表を行う。

⑥学位論文全文 ⑦学位論文内容の要旨の電子データ

- ・ 電子データをメール添付により、教務担当へ提出すること。

※データ容量が大きく、メール添付できない場合はUSBメモリ等の記録媒体を使用し、直接教務担当まで提出すること。

※紙媒体での提出も必要となるので、注意すること。

※ マニュアルURL（水産学部ホームページ内）：

<https://www2.fish.hokudai.ac.jp/campus-life/page-204.html>

【各種様式の提出先】

〒041-8611

函館市港町3丁目1番1号

国立大学法人北海道大学

函館キャンパス事務部教務担当

Tel : 0138-40-5623

Mail : kyoumu@fish.hokudai.ac.jp

令和4年度3月授与
博士後期課程学位申請
手続きについて

**令和4年度（令和5年3月修了）博士後期課程（課程博士）
学位審査手順・日程**

※提出期日については、2～3頁の日程表により確認願います。

1. 「博士論文」等の提出【学生→教務担当】

- ① 主論文（1部＋電子データ） **詳細**
- ② 参考論文（1部）
- ③ 履歴書・論文目録（原本1部）
- ④ 学位論文内容の要旨（原本1部＋電子データ） **様式集**

※片面印刷で作成

- ⑤ インターネット公表に係る書類（様式0・1・2のいずれか1つ） **様式集**
- ⑥ 主論文の要約（1部＋電子データ）※⑤で様式1提出者のみ **様式集**

※ 電子データ作成については、別紙①「学位申請に関する書類の電子データ作成要領」を参照すること。

※ 上記⑤で様式1を提出した者は、
保留にかかる事由が解消された場合→様式3
当初の保留事由解消見込み時期以降も全文を公表できない場合→様式4
を作成し、教務担当まで提出すること。
手続きがない場合には、当初の保留事由解消見込み時期、
又は公表保留上限年数（原則5年）を経過した段階で全文公表を行う。

2. 最終審査会（教授会） 【3/1(水)13:30～（予定）】

3. 学位（博士）授与日 【3/23(木)】

4. 学位記授与式（函館） 【3/24(金)】（予定）

詳細2 「博士論文」等の提出

提出先：教務担当窓口

提出期限：令和5年1月5日（木）～1月10日（火）正午

提出物（紙媒体）：

- ① 主論文（1部） ②参考論文（1部）
- ③ 履歴書・論文目録・学位論文内容の要旨（各1部（原本））
- ④ インターネット公表にかかる関係書類（様式0・1・2のいずれか）
- ⑤ 主論文の要約（1部）※④で様式1提出者のみ

提出物（電子データ）：

- ⑥ 主論文全文（電子データ） ⑦学位論文内容の要旨（電子データ）
- ⑧ 主論文の要約（電子データ）※④で様式1提出者のみ

※ 電子データ作成については、別紙①「学位申請書類の電子データ作成要領」を参照すること。

① 主論文（1部） ② 参考論文（1部）

- ・ 用紙はA4判を使用すること。
- ・ 主論文，参考論文には目次をつけること。
- ・ 大学側で製本するので，提出の際に製本はしない。バインダー（挟むタイプ）にて提出すること（穴を開けるバインダー不可）。

【表紙】

- ・ 論文題目が和文の場合は英訳を，英文の場合は和訳を記載し，訳題は（ ）でくくること。
- ・ 氏名を記載するとともに，漢字氏名の場合は英語表記も併記すること。漢字語圏の学生は，原則漢字で記載し，英語表記も必ず併記すること。
- ・ アルファベット表記の学生は，本人の希望により，カタカナ表記を併記しても構わないこと。
- ・ 発行年を西暦で記載すること（発行年度ではないので注意）。
- ・ 表紙には，大学院名，所属専攻は記載しないこと。
- ・ 英語の論文題目の場合は，全て英文，和文の順に記載すること。
- ・ バインダーの表紙，中表紙，背表紙は次頁の例により作成すること。

【中表紙】

表紙と同じ記載内容とすること。ただし，中表紙にのみ，大学院名，所属専攻を和文，英文で併記すること（所属講座名は不要）。

【背表紙】

- ・ 論文題目，氏名，発行年（西暦で記載）とすること。
- ・ 和文論文題目の英訳，英文論文題目の和訳の併記は必要ないこと。

※表紙・中表紙・背表紙は、次ページの＜記載例＞の通り作成すること。

<記載例>

○主論文

和文論文題目の場合

英文論文題目の場合

【表紙（縦 8cm×横 13cm）】

<p>水産科学に関する研究 (Research on Fisheries Science)</p> <p>水 産 太 郎 Taro Suisan</p> <p>2023 年</p>	<p>Research on Fisheries Science (水産科学に関する研究)</p> <p>Hanako Suisan 水 産 花 子</p> <p>2023 年</p>
--	--

【中表紙（A4 サイズで作成）】

<p>(A 4 サイズ)</p> <p>水産科学に関する研究 (Research on Fisheries Science)</p> <p>北海道大学大学院水産科学院 海洋生物資源科学専攻 Division of Marine Bioresource and Environmental Science Graduate School of Fisheries Sciences Hokkaido University</p> <p>水 産 太 郎 Taro Suisan</p> <p>2023 年</p>	<p>(A 4 サイズ)</p> <p>Research on Fisheries Science (水産科学に関する研究)</p> <p>Division of Marine Life Science Graduate School of Fisheries Sciences Hokkaido University 北海道大学大学院水産科学院 海洋応用生命科学専攻</p> <p>Hanako Suisan 水 産 花 子</p> <p>2023 年</p>
--	---

【背表紙（バインダーの背表紙に貼付）】

<p>製 冊</p>	<p>出 版 年 次</p>
------------	----------------

○参考論文

和文論文題目の場合

英文論文題目の場合

【表紙（縦 8cm×横 13cm）】

<p>参考論文</p> <p>水産科学に関する研究 (Research on Fisheries Science)</p> <p>水産太郎 Taro Suisan</p> <p>2023年</p>	<p>参考論文</p> <p>Research on Fisheries Science (水産科学に関する研究)</p> <p>Hanako Suisan 水産花子</p> <p>2023年</p>
--	--

【中表紙（A4 サイズで作成）】

<p>(A4 サイズ) 参考論文</p> <p>水産科学に関する研究 (Research on Fisheries Science)</p> <p>北海道大学大学院水産科学院 海洋生物資源科学専攻 Division of Marine Bioresource and Environmental Science Graduate School of Fisheries Sciences Hokkaido University</p> <p>水産太郎 Taro Suisan</p> <p>2023年</p>	<p>(A4 サイズ) 参考論文</p> <p>Research on Fisheries Science (水産科学に関する研究)</p> <p>Division of Marine Life Science Graduate School of Fisheries Sciences Hokkaido University 北海道大学大学院水産科学院 海洋応用生命科学専攻</p> <p>Hanako Suisan 水産花子</p> <p>2023年</p>
--	---

【背表紙（バインダーの背表紙に貼付）】

<p>参考論文 題 目</p>	<p>氏 名</p>	<p>2023年</p>
-----------------	------------	--------------

③履歴書・論文目録・学位論文内容の要旨

- ・様式集を参照して作成すること。

④インターネット公表にかかる関係書類

- ・様式0～2のいずれか。

※様式1を提出した者は、

保留にかかる事由が解消された場合→様式3

当初の保留事由解消見込み時期以降も全文を公表できない場合→様式4
を作成し、教務担当まで提出すること。

手続きがない場合には、当初の保留事由解消見込み時期、

又は公表保留上限年数（原則5年）を経過した段階で全文公表を行う。

⑥学位論文全文 ⑦学位論文内容の要旨の電子データ

- ・電子データをメール添付により、教務担当へ提出すること。

※データ容量が大きく、メール添付できない場合はUSBメモリ等の記録媒体を使用し、
直接教務担当まで提出すること。

※紙媒体での提出も必要となるので、注意すること。

※ マニュアルURL（水産学部ホームページ内）：

<https://www2.fish.hokudai.ac.jp/campus-life/page-204.html>

【各種様式の提出先】

〒041-8611

函館市港町3丁目1番1号

国立大学法人北海道大学

函館キャンパス事務部教務担当

Tel : 0138-40-5623

Mail : kyoumu@fish.hokudai.ac.jp

学位申請書類の電子データ作成要領

学位論文内容の要旨，博士論文の全文及び要約に係る電子データは次の要領で作成すること。

- ①学位申請者ごとにファイルを作成することとし，要旨等は，各々1ファイルとすること。
- ②ファイルはPDF形式とし，パスワードによる保護は設定しないこと。
- ③ファイル名は，下の表のとおりとすること。

提出書類	ファイル名	【例】	作成及び提出
学位論文内容の要旨	申請者名_abstract.pdf	Taro_Hokudai_abstract.pdf	申請者（学生）
博士論文（全文）	申請者名.pdf	Taro_Hokudai.pdf	申請者（学生）
博士論文の要約	申請者名_summary.pdf	Taro_Hokudai_summary.pdf	申請者（学生）

※ 被授与者名はローマ字表記とし，外国人等の長い氏名の者は省略可とする。

※ ファイル名は半角英数字で表記し，スペースを含めないこと。また，姓名をアンダースコアで区切り，それぞれ先頭の文字を大文字とすること。

【留意点】

○紙媒体をスキャンするのではなく，Acrobat や JUST PDF 等のソフトを使用して Word 等から直接変換し，テキスト情報が保持されたファイルとすること。

※都合により，変換データの作成が困難な場合は個別に下記担当まで申し出ること。

○データは必ずPDF形式に変換して提出すること。

※PC環境によっては，PDFに変換した際に，体裁や内容が元データと異なって表示される場合があるので，提出前に変換後のデータをよく確認すること。

【提出方法】

必要書類をEメールへ添付して，下記担当あてに送付すること。

※容量などの都合によりメールへの添付が難しい場合は，USBメモリ等の記録媒体を使用して，教務担当窓口まで提出すること。

【提出先】

北海道大学函館キャンパス事務部教務担当

函館市港町3丁目1番1号

Tel 0138-40-5623

E-mail : kyoumu@fish.hokudai.ac.jp

博士後期課程（博士課程） 様式集

～記入例入り～

記入例 **博士後期課程（博士課程）** **様式集**

- ・履歴書
 - ・論文目録
 - ・学位論文内容の要旨（電子データの提出も必要）
※各1部ずつ
- 【学生→教務担当】**

- ・様式0～4（原本1部）
- 【学生→教務担当】**

※ 各書類の提出時期はそれぞれマニュアルをご参照願います。

※ **様式のダウンロード先**

<https://www2.fish.hokudai.ac.jp/campus-life/page-204.html>

論文博士に必要な書類

- ・履歴書
 - ・研究歴証明書
 - ・研究業績目録
- （オリジナル片面印刷クリップ止め1部）
- 【申請者→教務担当】**

- ・学位申請書
- 【申請者→教務担当 受理後すぐ】**

履 歴 書

都道府県のみ記載

本 籍 北海道
現住所 北海道〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号

ふりがな 〇〇〇〇 〇〇〇〇
氏 名 〇 〇 〇 〇
西暦可 生年月日 昭和 年 月 日生

学 歴

平成〇〇年〇月〇〇日 北海道〇〇高等学校卒業
平成〇〇年〇月〇〇日 北海道大学水産学部入学
平成〇〇年〇月〇〇日 北海道大学水産学部〇〇学科卒業
平成〇〇年〇月〇〇日 北海道大学大学院水産科学院〇〇学専攻修士課程入学
平成〇〇年〇月〇〇日 北海道大学大学院水産科学院〇〇学専攻修士課程修了
令和〇〇年〇月〇〇日 北海道大学大学院水産科学院〇〇学専攻博士後期課程入学
令和〇〇年〇月〇〇日 北海道大学大学院水産科学院〇〇学専攻博士後期課程修了予定

高等学校卒業以降年次を追って記入。
日付等は卒業証書等を必ず確認し記入
すること。大学・大学院は25日卒業とは
限らない(22~24日付けあり)

本年度修了予定日は令和4年6月30日、9月26日、12月26日、令和5年3月23日のいずれか
課程の表記は「修士課程」「博士後期課程」とする。「博士前期課程」「博士課程」は不可

職 歴

自 平成〇〇年〇月〇〇日 〇〇県〇〇〇試験場において〇〇〇として勤務
至 平成〇〇年〇月〇〇日
自 平成〇〇年〇月〇〇日 〇〇県〇〇〇研究所において〇〇〇として勤務
至 平成〇〇年〇月〇〇日

水産科学研究科の学生は「学院」を研究科に変える。

課程博士の場合、学部・大学院入学前にある場合記入。(アルバイト記入不要)
学術振興会の特別研究員となっている場合は下記にならない研究歴に記載する。

研究歴

自 平成〇〇年〇月〇〇日 北海道大学大学院水産科学院〇〇学専攻修士課程
至 平成〇〇年〇月〇〇日 において「〇〇〇〇〇」の研究に従事
自 平成〇〇年〇月〇〇日 北海道大学大学院水産科学院〇〇学専攻博士後期課程
至 平成〇〇年〇月〇〇日 において「〇〇〇〇〇」の研究に従事

(令和〇〇年〇月〇日から日本学術振興会特別研究員)

賞 罰

なし

上記のとおり違いありません。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

氏 名 〇 〇 〇 〇 印

年月日は、
6月授与：令和4年4月8日
9月授与：令和4年6月3日
12月授与：令和4年10月3日
3月授与：令和5年1月10日 とする。

直筆サインの場合
印鑑不要

令和 年 月 日

水産科学院長 殿

博士論文全文のインターネット公表連絡届

私が執筆した博士論文の全文は、インターネット公表に関する権利関係を確認した結果、学位取得予定日以降、速やかに公表しても差し支えありません。

届出者氏名 _____ 印

※自署の場合は押印不要

学位取得予定日 令和 年 月 日

年月日は、

6月授与：令和4年6月30日

9月授与：令和4年9月26日

12月授与：令和4年12月26日

3月授与：令和5年3月23日 とする。

水産科学院長 殿

博士論文全文のインターネット公表保留承認申請書

私は、博士学位を授与された者は、その授与された日から1年以内に博士論文の全文をインターネットにより公表する義務があることを理解しました。そのうえで、次の事由により、博士論文の全文を学位取得予定日から1年以内に公表することができませんので、博士論文の内容を要約したものを公表することを申請します。

なお、全文を公表できない事由が解消した際には、速やかにその旨を報告します。

1. 博士論文全文をインターネットの利用により公表できない事由

下記事由のうち、公表保留の期間に上限が設けられている場合は、下記2で記載する公表できない事由の解消見込み日、又は公表保留上限年数（以下、公表保留期限と言う。）を経過した段階で自動的に本学リポジトリへ博士論文全文を掲載します。公表保留を延長する場合には、公表保留期限到達前の所定の日までに申請者本人又は本人から委任を受けた本学教員が公表保留延長申請書（別様式）を提出する必要があります。

（学術ジャーナルへの投稿・書籍出版による事由）

- 投稿済み、あるいは投稿中の学術ジャーナルの規定により、学位取得予定日から1年を超えてインターネット公表できない期間が継続するため（5年上限、ただし1年毎の延長が可能）。

ジャーナル名（ ） 投稿時期（ ）

- 多重公表を禁止する学術ジャーナルへの投稿を予定しているため（5年上限、ただし1年毎の延長が可能）。

ジャーナル名（ ） 投稿予定時期（ ）

- 書籍として出版する予定があるため（5年上限、ただし実際に出版した場合は、出版日から起算して10年を上限とした公表保留延長が可能）。

（他者への権利帰属に関する事由）

- 博士論文が特定個人の情報を含むことで、インターネットの利用により公表することができないため（公表可能時期未定）。
- 博士論文が他者の著作物を含み、博士論文への掲載は認められたが、インターネットの利用により公表することに対し承諾が得られなかったため（公表可能時期未定）。

（特許・その他の事由）

- 特許や実用新案の申請との関係で、インターネットの利用による博士論文の全文の公表により、明らかな不利益が学位取得予定日から1年を超えて生じるため（公表可能時期未定）。
- 博士論文が、立体形状による表現を含む等の理由により、インターネットの利用により公表することができない内容を含むため（公表可能時期未定）。
- その他、やむを得ない特別な事由があるため（5年上限）。

※事由を具体的に明記すること。

2. 全文を公表できない事由の解消見込み時期

令和 年 月 日 未定

（※1で（公表可能時期未定）の記載がある項目を選択した場合のみ可）

申請者氏名 _____ 印 _____ 学位取得(予定)日 令和 年 月 日

※自署の場合は押印不要

年月日は、
 6月授与：令和4年6月30日
 9月授与：令和4年9月26日
 12月授与：令和4年12月26日
 3月授与：令和5年3月23日 と
 する。

指導教員確認欄 _____ 印
 ※論文博士は不要

※自署の場合は押印不要

令和 年 月 日

水産科学院長 殿

博士論文全文のインターネット公表可能日の連絡届

私が執筆した博士論文の全文は、下記公表可能日以降に、インターネットの利用により公表願います。

記

公表可能日： 令和 年 月 日 以降

届出者氏名 _____ 印

※自署の場合は押印不要

学位取得予定日 令和 年 月 日

年月日は、

6月授与：令和4年6月30日

9月授与：令和4年9月26日

12月授与：令和4年12月26日

3月授与：令和5年3月23日 とする。

※ 本様式は、学位取得予定日から1年以内の一定期間、公表を保留する必要がある場合に提出するものです。

※様式 1 を提出した者で、保留にかか
る事由が解消された場合、提出

様式 3

水産科学院長 殿

博士論文全文のインターネット公表保留事由の解消届

私が執筆した博士論文の全文について、下記公表可能日以降に、インターネットの利用による公表が可能となりましたので、届け出ます。

記

公表可能日： 令和 年 月 日以降

届出者氏名 _____ 印

※自署の場合は押印不要

学位取得日 令和 年 月 日

学位記番号 _____

年月日は、

6月授与：令和4年6月30日

9月授与：令和4年9月26日

12月授与：令和4年12月26日

3月授与：令和5年3月23日 とする。

※様式1を提出した者で、当初の保留事由解消見込み時期以降も全文を公表できない場合、提出

様式4

令和 年 月 日

水産科学院長 殿

博士論文全文のインターネット公表保留延長申請書

私は、博士論文全文の公表保留を申請していましたが、当初予定していた公表保留事由の解消見込み時期においても下記の事由により公表することができませんので、公表保留の延長を申請します。

なお、全文を公表できない事由が解消した際には、速やかにその旨を報告します。

1. 公表保留延長を希望する事由

- 博士論文のデータを含む論文を学術ジャーナルに投稿済、あるいは投稿予定であり、当該学術ジャーナルの規定により、インターネット公表できない期間が継続するため。

(公表延長可能期間：1回の申請につき1年間)

※ジャーナル名、投稿時期等を具体的に明記すること。

- 博士論文の内容を書籍として出版したため。(出版日：令和 年 月 日)

(公表延長可能期間：出版日から起算して原則10年間)

2. 当初の保留申請事由解消見込み時期

令和 年 月 日

3. 新たに希望する保留申請事由解消見込み時期

- 令和 年 月 日

- 未定(著作権が出版社に譲渡され、公表の合意が得られない場合のみ選択可)

申請者氏名 _____ 印

※自署の場合は押印不要

(申請者より委任を受けた場合)

教員氏名 _____ 印

※自署の場合は押印不要

学位取得日 令和 年 月 日

学位記番号 _____

年月日は、

6月授与：令和4年6月30日

9月授与：令和4年9月26日

12月授与：令和4年12月26日

3月授与：令和5年3月23日 とする。

学位申請書

貴学学位規程第4条第1項の規定により学位論文，論文目録，
履歴書及び論文審査手数料18万円を添え博士（水産科学）の学位
の授与を申請します。

令和 年 月 日

氏名

※本学の卒業生
若しくは大学院学生であった者
又は国立大学法人北海道大学の職員
若しくは職員であった者については
9万円とする。

北海道大学総長 殿

修士課程

【修士】学位申請に係る提出書類一覧

◇先端教育コース

	提出書類	提出者	提出方法	提出期限
①	修士論文	申請者(学生)	1部	9月修了 <u>令和4年7月12日(火)</u> ~7月19日(火)正午
②	修士論文内容の要旨	申請者(学生)	1部	3月修了 <u>令和5年1月19日(木)</u> ~1月27日(金)正午

【公開論文発表会(修士)】

《9月修了》

令和4年8月9日(火)

《3月修了》

令和5年2月9日(木), 10日(金), 13日(月), 14日(火)

◇広領域教育コースも同日程.

書類は『修士論文』→『修了レポート』に変更して提出すること。
主査・副査の記載は不要。

令和4年度9月修了
修士課程
修了手続きについて

**令和4年度9月修了修士課程
学位審査手順・日程**

※提出期日については、42頁の日程表により確認願います。

◇先端教育コース

1. 「修士論文」等の提出【学生→教務担当】

- ① 修士論文 (1部) 詳細1
- ② 修士論文内容の要旨 (1部)

2. 修士論文発表会（公开发表） 【8/9(火)】（時間は専攻内で調整）

- ・会場：大講義室（予定）
- ・「修士論文内容の要旨」等公开发表当日に必要なものは各自でご用意願います。

3. 最終審査会（臨時学院教授会） 【9/1(木) 13:30～（予定）】

4. 学位（修士）授与日 【9/26(月)】

5. 学位記授与式（函館） 【9/26(月)（予定）】

◇広領域教育コース

先端教育コースと同日程

書類は『修士論文』→『修了レポート』に変更して提出すること。

修了レポート内容の要旨は主査・副査の記載は不要。

詳細1 「修士論文」等の提出

提出先：教務担当窓口（※期限厳守のこと）

提出期間：令和4年7月12日（火）～7月19日（火）正午

提出物：① 修士論文（1部） ② 修士論文内容の要旨（1部）

① 修士論文（1部）

- ・用紙はA4判を使用すること。
- ・大学側で製本するので、提出の際に製本はしない。バインダー（挟むタイプ）にて提出すること。（穴を開けるバインダー不可）
- ・論文の題目が外国語の場合、日本語訳を表紙に（ ）書きで付すこと。
- ・参考論文の提出は不要。
- ・バインダー表紙は下記により作成する。中の論文にも表紙をつけること。

【見本】

背表紙

修士論文 論文題目 氏名 2022年

表紙

<table border="1"><tr><td>8 c m</td><td>修士論文 論文題目 氏名 2022年</td></tr></table> 13 c m ※題目が外国語の場合、題目の下に()書き で日本語訳を書く。	8 c m	修士論文 論文題目 氏名 2022年
8 c m	修士論文 論文題目 氏名 2022年	

令和4年度3月修了
修士課程
修了手続きについて

**令和4年度（令和5年3月修了）修士課程
学位審査手順・日程**

※提出期日については、42頁の日程表により確認願います。

◇先端教育コース

1. 「修士論文」等の提出【学生→教務担当】

- ① 修士論文 (1部) 詳細
- ② 修士論文内容の要旨 (1部)

2. 修士論文発表会（公開発表）

【令和5年2月9日(木), 10日(金), 13日(月), 14日(火)】

生物資源：講義棟1階第4講義室（予定）

応用生命：講義棟大講義室（予定）

3. 最終審査会（臨時学院教授会） 【3/1(水) 13:30～（予定）】

4. 学位（修士）授与日 【3/23(木)】

5. 学位記授与式（函館） 【3/24(金)】（予定）

◇広領域教育コース

先端教育コースと同日程。

書類は『修士論文』→『修了レポート』に変更して提出すること。

修了レポート内容の要旨は主査・副査の記載は不要。

詳細2 「修士論文」等の提出

提出先：教務担当窓口（※期限厳守のこと）

提出期間：令和5年1月19日（木）～1月27日（金）正午

提出物：① 修士論文（1部） ② 修士論文内容の要旨（1部）

① 修士論文（1部）

- ・用紙はA4判を使用すること。
- ・大学側で製本するので、提出の際に製本はしない。バインダー（挟むタイプ）にて提出すること。（穴を開けるバインダー不可）
- ・論文の題目が外国語の場合、日本語訳を表紙に（ ）書きで付すこと。
- ・参考論文の提出は不要。
- ・バインダー表紙は下記により作成する。中の論文にも表紙をつけること。

【見本】

背表紙

修士論文 論文題目
氏名 2023年

表紙

8 c m	修士論文 論文題目 氏名 2023年
	13 c m
	※題目が外国語の場合、題目の下に()書き で日本語訳を書く。

